

## 平成22年度 当初予算主要事業一覧

(単位：千円)

**新**：22年度新規事業

**一新**：21年度事業内容を見直し一部新規内容を付加  
主たるプログラム以外の関連するプログラムへ掲載する場合に  
(再掲)と記載しております。

### 重点事業（重点プログラム推進のための事業）

福島県総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」のうち、当面特に重点的に取り組むべき課題に対応したものを「重点プログラム」とし、これを推進する事業(重点事業)のうち主な事業を掲載します。

### プログラム1 未来の主人公であるふくしまの子どもたち育成プログラム

長期的な視点に立って、将来のふくしまをつくっていく上で基本となる人づくりを行うため、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた就業環境や保育環境の整備など、子育てしやすい環境づくりを進めるほか、グローバル化が進む中でもたくましくしなやかに未来を切り開いていけるよう、確かな学力とともに、高い社会規範意識、自立心、豊かな創造性を持った子どもを育成するなどの取組みを進めます。

#### (1) 地域全体で心豊かでたくましい子どもの育成（平成の寺子屋）

##### 1 子育て支援を進める県民運動事業（子ども施策担当理事（保健福祉部）） 1,798

県内7方部に設置した「子育て支援連絡会議」について、構成団体間の連携を一層深めるとともに、11月の第3日曜日を「子育ての日」、その前後各1週間を「子育て週間」として、啓発等を集中的に実施する。

##### 2 子育て応援パスポート事業（保健福祉部） 5,136

子どもがいる世帯にパスポートを交付するとともに、協賛事業者を募集し、当該企業等を利用する際にパスポートの提示により各種サービスを受けることができる仕組みを推進することにより、「社会全体で子育て支援」の気運を盛り上げる。

##### 3 地域の三世代子育て助け合い推進事業（子ども施策担当理事（保健福祉部）） 3,843

お互いに支え合いながら安心して子育てができる地域社会づくりに向けて、地域生活の中心となっている孫育て世代を主な対象として、子育て支援講座を実施する。

##### **新**4 (安心子ども基金事業)地域の寺子屋推進事業（保健福祉部） 5,917

地域のコミュニティ施設を活用し、団塊の世代等が子どもや子どもを持つ親を対象とした交流事業に取り組む団体を支援するとともに、団塊の世代等がこれまで培ってきた技能や文化を次世代に伝える取組みをモデル的に行う団体を支援する。

**新5 21世紀ふくしま文化担い手育成事業（文化スポーツ局） 1,927**

文学、音楽、美術、海洋文学、民俗学などの「ふくしま文化少年倶楽部（仮称）」を創設するとともに、伝統文化等を次代に受け継ぐために発表や交流の場を設けることにより地域文化の担い手を育成する。

**6 地域連携型人材育成事業（双葉地区教育構想）（文化スポーツ局） 18,424**

富岡高校国際スポーツコースのバドミントン・ゴルフ競技においては国内トップレベルの専任コーチ、サッカーにおいてはJFAアカデミーのコーチによる指導を行い、世界に通用する選手育成のための指導体制を確立する。また、中高連携の一層の充実と地域住民との連携・サポート体制づくりを行う。

**新7 若者の社会参画推進モデル事業（生活環境部） 2,051**

次代を担う若者の社会参画を推進するため、中学生・高校生が自ら企画し実施する地域活動に対し支援する。

**新8 うつくしまグリーンプロジェクト（企画調整部） 7,334**

小学校・幼稚園等の校庭・園庭のポット苗方式による芝生化の取組みを支援することにより、子どもたちの生活環境の整備、体力向上及び地域コミュニティの活性化などを通して魅力ある地域づくりを推進する。

**新9 特別支援教育総合推進事業（教育庁） 6,022**

発達障がいを含むすべての障がいのある幼児児童生徒の特別支援教育を総合的に推進するために、市町村が関係機関と連携して行う取組みや特別支援教育の充実を図る取組みを支援する。

**10 「大人が変われば子どもも変わる」運動推進強化事業（生活環境部） 986**

青少年を心身ともに健康にはぐくむため、福島県青少年育成県民会議が実施する「大人への応援講座」を支援し、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を推進する。

**新11 「家族でもっとコミュニケーション」チャレンジ事業（子ども施策担当理事（生活環境部）） 830**

家族がふれあう明るい家庭づくりの実践を推進するため、家族のコミュニケーションを図る事業を展開する。

**（2）子育てしやすい環境づくり****1 乳幼児医療費助成事業（保健福祉部） 1,130,460**

乳幼児の疾病の早期発見及び早期治療を促進するとともに、子育てに伴う経済的負担の軽減を図るため、市町村が実施する乳幼児医療助成事業に対し経費の一部を補助する。

**2 小児救急医療整備支援事業（保健福祉部） 12,386**

小児医療体制の整備や小児医療の確保に関して検討するとともに、小児科以外の医師が小児の一次救急に対応できるようにする研修事業や夜間の小児の疾病等について保護者への電話相談事業を実施する。

**新3 特定不妊治療費助成事業（保健福祉部） 90,696**

高度生殖医療（体外受精・顕微授精）による不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部を助成するとともに、不妊に悩む夫婦への相談支援と不妊治療に関して普及啓発を行う。

**4 保育対策等促進事業（保健福祉部） 379,632**

子育てにおける負担軽減や、仕事と子育ての両立を図るため、延長保育、特定保育、病児・病後児保育など多様な保育サービス事業を実施する市町村に対して補助を行う。

**5 放課後子どもプラン（放課後児童クラブ）（保健福祉部） 597,283**

昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成及び保護者の子育てと仕事の両立を支援する。

【（関連事業）放課後子どもプラン（放課後子ども教室）（教育庁）：安心して子育てができる社会の実現のため、地域の協力のもと、子どもたちがスポーツ・文化活動や交流活動を行う放課後子ども教室の設置を支援する。（55,367千円）（全事業一覧 プログラム1 - （1） - 12を参照）】

**新6 安心こども基金事業（保健福祉部） 1,912,528**

「安心こども基金」を活用し、保育所や子育て支援のための拠点整備に対する補助、保育等の質の向上のための研修のほか、地域での実情に応じた子育て支援活動への支援などを行い、子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

**新地域子育て創生事業（市町村創意事業）（保健福祉部） 35,852**

市町村が地域の実情に応じて取り組む創意工夫のある子育て支援活動に対して補助する。

**新 ワーク・ライフ・バランス推進事業等**

**新7 ワーク・ライフ・バランス推進・意識調査事業（商工労働部） 32,078**

ワーク・ライフ・バランスキャンペーンクルーによる企業訪問の実施等、ワーク・ライフ・バランスについて広く啓発する。また、県内企業及び従業員に対する意識調査を実施するとともに、ワーク・ライフ・バランス推進のための施策及び企業における取組み等について検討するため、ワーク・ライフ・バランス推進懇談会を開催する。

**新8 ワーク・ライフ・バランス推進事業（子ども施策担当理事（生活環境部）） 1,998**

就職、結婚、出産・育児、介護などのライフステージに応じた「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）の取組みを促進するため、県内大学と連携し、就業環境整備や少子高齢化をテーマとした講義を実施するとともに、ライフステージにおいて重要な子育て・介護をテーマとした方部別研修会を開催する。

**新9 （安心こども基金事業）事業所連携による次世代育成支援対策推進事業、次世代育成支援対策出前講座事業（保健福祉部） 3,321**

次世代育成支援対策の推進を図るため、複数の事業所が行う次世代育成に関する意見交換会や共同事業の実施に支援を行うとともに、出前講座を希望する団体に講師の派遣を行う。

**新10 若者交流促進事業（子ども施策担当理事（保健福祉部）） 9,727**

若者の出会いの場を創出するために、うつくしま若者交流ネットワークを構築するとともに、広域的な交流活動に係る企画提案に対して補助する。

**（3）確かな学力の育成**

**新1 「確かな学力」向上プラン（教育庁） 15,208**

小・中学校においては、児童生徒の学力向上を図るため「定着確認シート活用実践事業」を行うとともに、高等学校においては、生徒一人ひとりの進路希望を実現するための各学校の実態に応じた学力向上やキャリア教育に関する取組みを支援する。

**2 学力向上プロジェクト事業（教育庁） 20,316**

小・中学生の学校や家庭における学習習慣を確立させるとともに、高校生の学力向上の取組みを行うことにより、生徒の大学進学希望の実現を図る。

**3 少人数教育推進事業（教育庁） 6,019,842**

個に応じたきめ細やかな指導が可能となるよう、小学校、中学校において30人・30人程度学級編制に必要な教員の配置を図る。

**4 中山間地域インターネット活用学校支援事業（教育庁） 15,842**

中山間地域の児童生徒の学習意欲と学力の向上を図るため、インターネットによる学習環境の整備と小規模校同士の連携を推進する。

**5 地域医療を担う人材育成プラン（教育庁） 1,780**

高等学校の医学部進学希望生徒に対して、地域医療の現場に触れる機会を設定し、さらに最新の医学等に関する講義・実習を実施することで、医学部受験に向けての学習意欲を高め、地域医療に貢献できる人づくりを進める。

**6 双葉地区教育構想（国際人育成プラン）（教育庁） 14,829**

双葉地区教育構想の基本目標である「真の国際人として社会をリードする人材の育成」の実現のために、海外留学や英語を通じた中高連携事業などにより、実践的なコミュニケーション能力や異文化理解に富む人づくりを進める。

**新7 野口・朝河賞制定20周年記念事業（教育庁） 1,065**

科学・技術研究論文「野口英世賞」と国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」が制定20周年を迎え、両博士の偉業を再認識するとともに、未来を担う中学生・高校生をはじめ広く県民一般が科学技術の推進と国際理解・国際交流について一層関心を高める機会とするため記念事業を実施する。

プログラム1	事業数	事業費（千円）
本資料に掲載した事業	28	10,313,259
その他の事業	18	3,125,847
合計	46	13,439,106